

令和3年度 通学路の新規危険箇所図

【江府町立奥大山江府学園（旧：江府小学校および江府中学校）】

＜町道（江尾本町）：R3-①＞



＜門脇旅館前＞



＜郵便局前＞

道が狭く、車の往来も多い
が、路側帯が消えている
→ 塗り直し

<県道 52 号線（小江尾）：R 3－②>



小江尾集落入り口（吉村宅と川端宅の間）の見通しが悪い
→ 「子ども飛び出し注意」等の注意喚起看板設置



<江尾上町夜振橋：R3－③>



横断歩道の白線が薄くなり見えにくい→塗りなおし



<県道 113 号線（武庫～俣野）：R 3－④>



<俣野川ダム横道路>

俣野川ダムの道路の法面で大雨が降ると土砂が落ちていることがある → 定期的な安全点検

<県道 113 号線（武庫～俣野）：R 3－⑤>



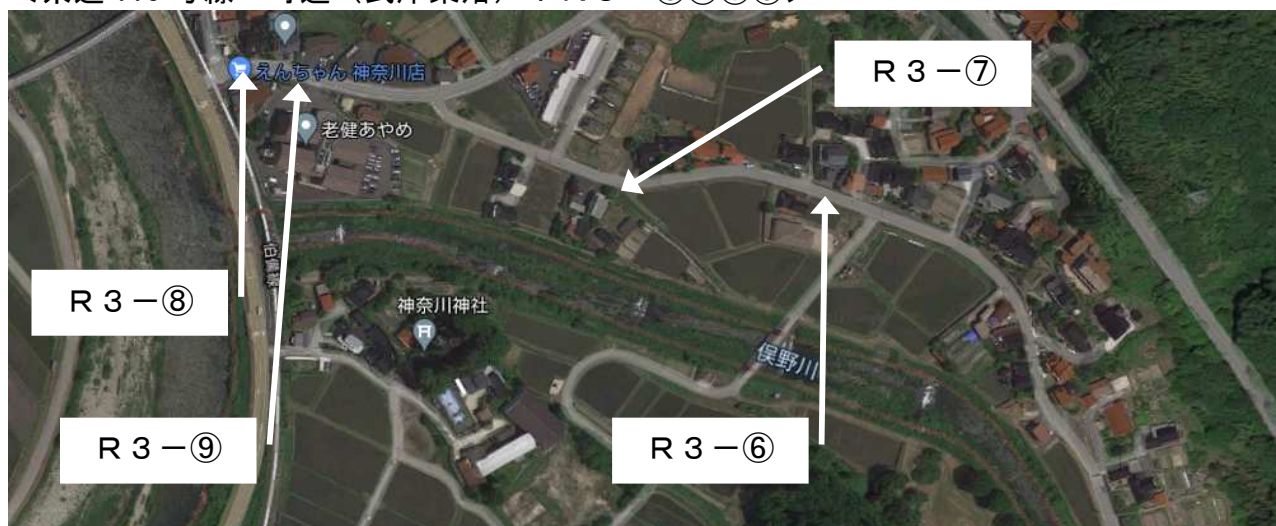
横断歩道の白線、路側帯が薄くなり、車で通っても見えにくいところがある → 特に子ども達が利用する横断歩道等の塗り直し

<池ノ内バス停>



<池ノ内バス停前横断歩道>

<県道 113 号線・町道（武庫集落）：R 3－⑥⑦⑧⑨>



えんちゃん神奈川店前の
横断歩道が消えかけてい
る → 塗り直し



⑧

<えんちゃん前横断歩道>



⑦

<元「日野土木」横水路>

元「日野土木」横の
水路 道路から水路までの高さがあり、落下防止の柵等
もなく危険 →
対策



⑨

<あやめ前歩道>

あやめ前県道の歩道



⑥

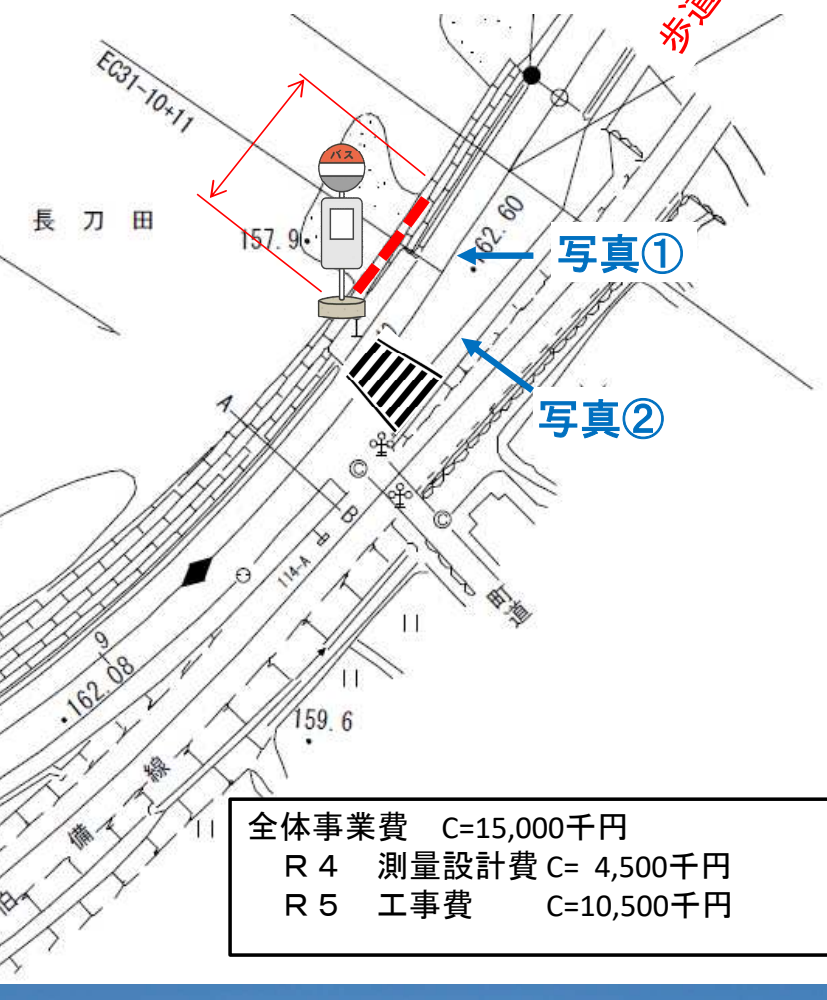
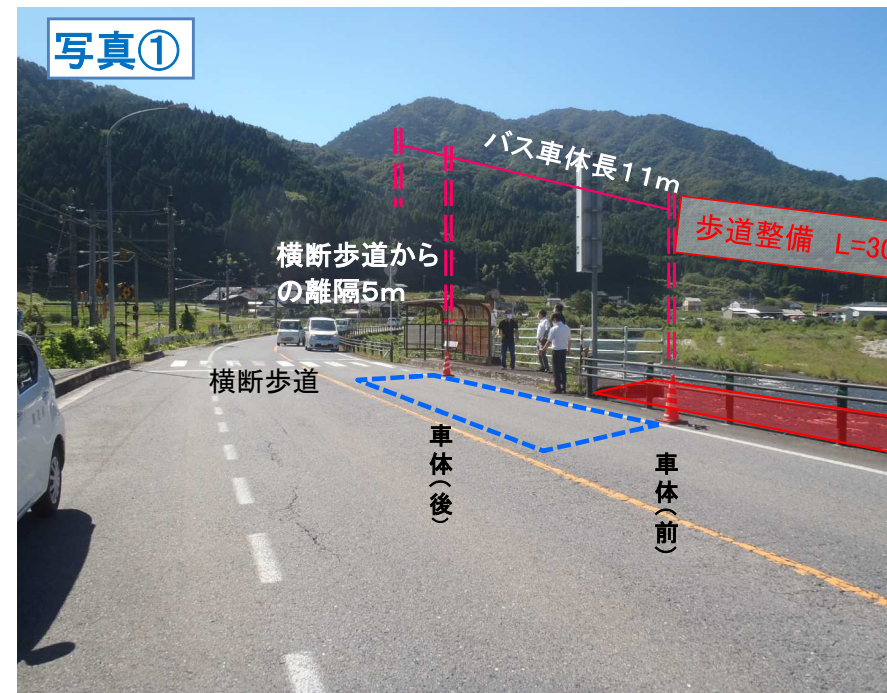
<武庫集落内>

集落内の白線がえてい
る → 塗り直し

<江尾上町バス停付近カーブ：R3-⑩>



一般国道181号(武庫1工区):江府町 説明資料

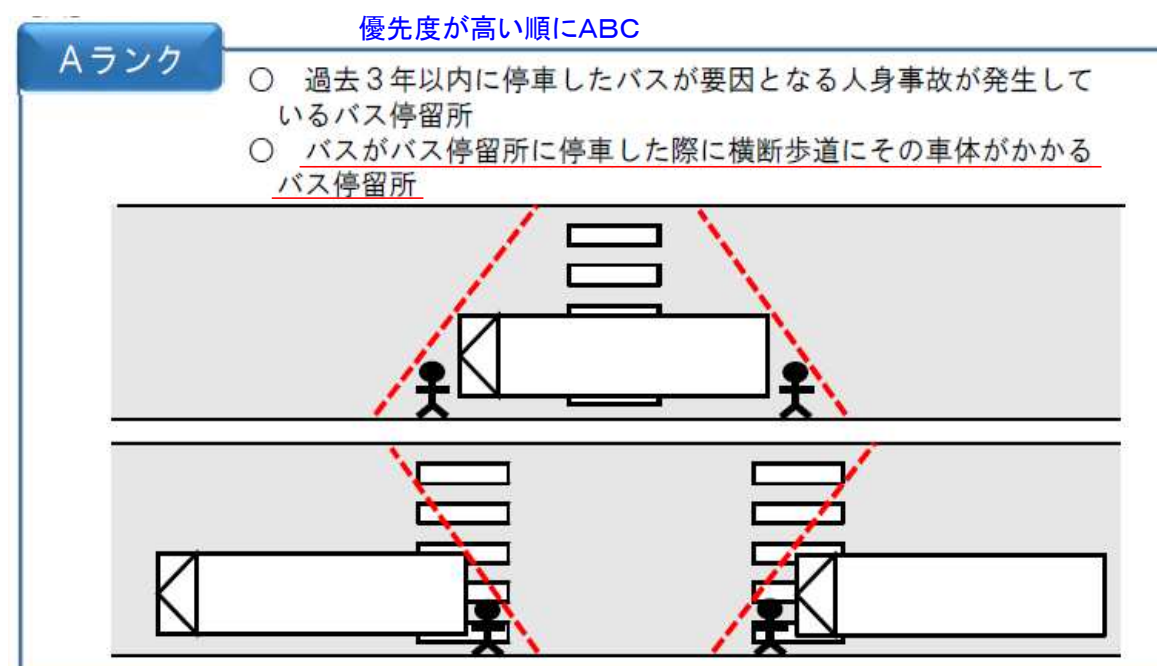


バス停車時に車体が横断歩道から5m離隔確保するには、歩道整備を行い安全性確保する必要あり

【事業の必要性】
バス停車時は横断歩道との離隔が狭く、バスから降車した歩行者が横断歩道を渡る際に死角が生じるため、歩道整備を行うことで安全性を確保する必要がある。

全体事業費 C=15,000千円
R 4 測量設計費 C= 4,500千円
R 5 工事費 C=10,500千円

バス停留所安全性確保対策における安全上の優先度の判定方法(抜粋)

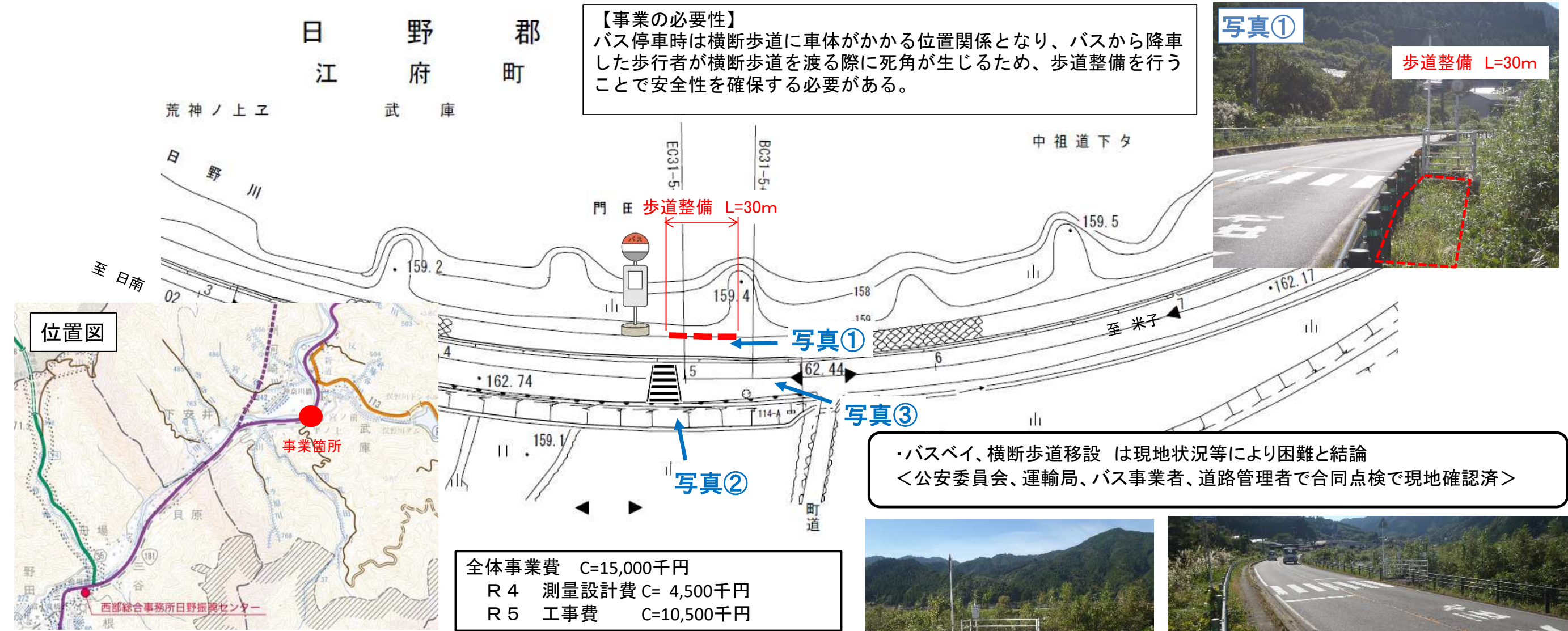


写真② 危険バス停箇所の合同現場確認



・バスベイ、横断歩道移設 は現地状況等により困難と結論
<公安委員会、運輸局、バス事業者、道路管理者で合同点検で現地確認済>

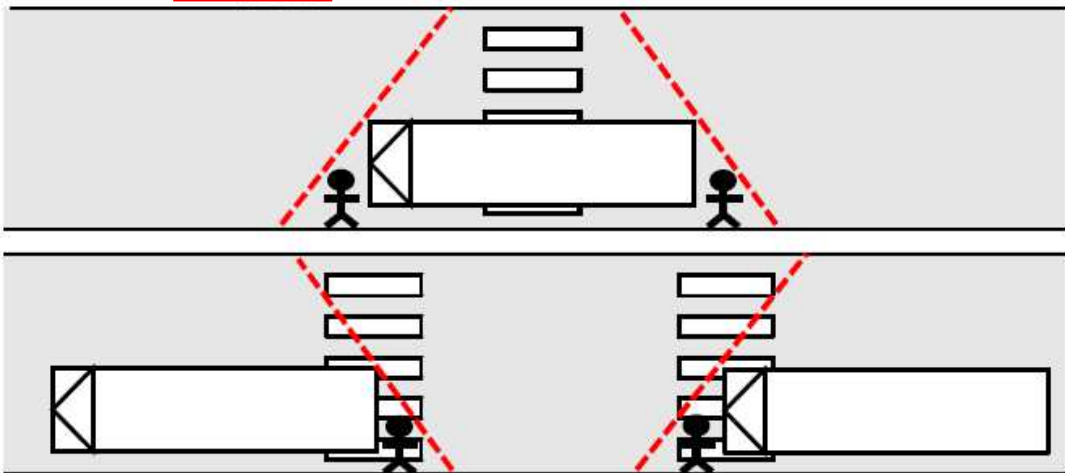
一般国道181号(武庫2工区):江府町 説明資料



バス停留所安全性確保対策における安全上の優先度の判定方法(抜粋)
優先度が高い順にABC

Aランク

- 過去3年以内に停車したバスが要因となる人身事故が発生しているバス停留所
- バスがバス停留所に停車した際に横断歩道にその車体がかかるバス停留所



写真②



写真③

バス停車時に車体が横断歩道から5m離隔確保するには、歩道整備を行い安全性確保する必要あり

位置図

